

表象文化論学会

第4回大会開催記念

京舞

井上八千代



「珠取海女」井上八千代
国立劇場「舞の会」2004年11月
撮影：小川知子

2009年7月4日[土]
15:30開場 16:00開演

京都芸術劇場
春秋座

[京都造形芸術大学内]

□料金(全席指定席)
一般(非学会員)——1,500円
学生——500円
京都芸術劇場友の会——1,000円
表象文化論学会会員 無料

□チケット発売開始日
2009年4月21日(火)

□主催
表象文化論学会
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

□協力
京都造形芸術大学 舞台芸術学科
京都造形芸術大学大学院

【ご挨拶】 浅田彰

【解説】 渡辺保、渡邊守章

地歌『珠取海女』井上八千代

歌三絃 菊央雄司 箏 菊萌文字

【シンポジウム】

京舞と現代の舞踊芸術

井上八千代+渡辺保+渡邊守章+森山直人

2006年7月に設立。「表象文化論」は、1986年、東京大学駒場キャンパスに発足した新しい学問分野であり、現在では全国のさまざまな大学に同名の講座や講義が設置されている。古典的な意味における芸術・文学のみならず、写真、映画、ビデオアートのような「イメージ」の諸領域や、サブカルチャー、ポップ・カルチャーなども含めた広範な文化現象全般を、「表象 (representation) の分析」という観点から横断的に探究すると同時に、大学での研究と社会における文化創造の現場との実践的な橋渡しも積極的に行っている(『表象のディスコース』全6巻が、東京大学出版会より刊行されている)。毎年7月に年次大会、11月に研究発表集会を開催するほか、学会誌『表象』を年1回発行。関西圏での大会開催は、今回がはじめてとなる。

7月4日(土) 13:30開演
表象文化論学会研究シンポジウム※
会場：京都芸術劇場春秋座(京都造形芸術大学内)
料金：無料(学会員・非学会員とも)
※当シンポジウム終了後客席入替あり。

7月5日(日)
表象文化論学会第4回大会
研究発表セッション
会場：京都造形芸術大学キャンパス
料金：当日会員証を発行(1000円)。

詳細については表象文化論学会HPをご覧ください。
<http://www.repre.org/>

表象文化論学会 第4回大会開催記念 京舞 井上八千代

2009年7月4日[土]
15:30開場 16:00開演
京都芸術劇場
春秋座
[京都造形芸術大学内]

表象文化論学会第4回大会の京都開催を記念して、京舞井上流五世家元井上八千代氏に京舞を舞っていただきます。
上方舞の中でも京都固有の特色を持つ井上流の〈京舞〉に、初めてふれる方にもその魅力を味わっていただけるよう、解説とシンポジウムを通し、さまざまな角度から京舞にアプローチします。

- 料金(全席指定席)
一般(非学会員)——1,500円
学生——500円
京都芸術劇場友の会——1,000円
表象文化論学会会員 無料
- ※学生は要学生証提示

- チケット発売開始日
2009年4月21日(火)
- チケット取扱い
●京都芸術劇場チケットセンター
窓口販売・電話予約
TEL 075-791-8240 (平日10時~17時)

- 劇場オンラインチケットストア
パソコンから
<http://www.k-pac.org/theatre/>
携帯から
<http://www.k-pac.org/theatre/m/>
※要オンライン会員登録(無料)
※学生チケットのオンラインでの取扱いはございません。



- お問合わせ先
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
Tel 075-791-9437 Fax 075-791-9438
URL <http://www.k-pac.org/>
e-mail: info@k-pac.org

- 主催
表象文化論学会
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

- 協力
京都造形芸術大学 舞台芸術学科
京都造形芸術大学大学院

京都芸術劇場 春秋座
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

- 劇場アクセス
- JR「京都」駅・京阪「三条」駅・阪急「河原町」駅から
→京都市バス5系統「岩倉」行きに乗車
「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分)
- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」・「北大路」駅から
→京都市バス204系統(循環)に乗車
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪「出町柳」駅から
→叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分
→タクシーで約10分
- 駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。



プログラム

- 15:30開場 16:00開演
- 【ご挨拶】 浅田彰 [京都造形芸術大学大学院長]
 - 【解説】 渡辺保、渡邊守章
 - 【京舞】 地歌『珠取海女』井上八千代
歌・三絃＝菊史雄司 箏＝菊萌文子
 - 【シンポジウム】 京舞と現代の舞踊芸術
井上八千代+渡辺保+渡邊守章+森山直人(司会)

『珠取海女』(たまとりあま)
能「海土」に取材した本行物の大曲。大臣・藤原淡海と契りを交わし、子をもうけた讃岐の海女。子を世継ぎにする約束で、大臣が竜宮に取られた宝珠を奪い返すため果敢に海へと潜る。竜宮より宝を盗みとった海女は、乳の下を切りさき、かくす。子のために命を惜しまない母の愛と、海に飛び込んでからの躍動的な舞が見どころ。初世または二世井上八千代振付。



井上八千代(いのうえ・やちよ)
京舞井上流五世家元。京都造形芸術大学教授。
昭和36年「七福神」で初舞台。45年井上流名取。
56年から「澤の会」を主催。平成12年祖母より八千代の名を譲り受け、五世井上八千代を襲名。
京舞井上流の流儀の発展に尽くすとともに、弟の能楽師片山清司とともに、「能・狂言と京舞の会」を催すなど、積極的な活動を行っている。



渡辺保(わたなべ・たもつ)
演劇評論家。慶応義塾大学経済学部卒。東宝演劇部企画室長、淑徳大学教授、放送大学教授を経て、現在、放送大学客員教授。『女形の運命』で芸術選奨文部大臣新人賞、『俳優の運命』で河竹賞、『忠臣蔵 もう一つの歴史感覚』で平林たいご賞と河竹賞、『娘道成寺』で読売文学賞、『四代目市川團十郎』で芸術選奨文部大臣賞、『黙阿弥の明治維新』で読売文学賞を受賞。その他、著書多数。平成12年11月紫綬褒章受賞。



渡邊守章(わたなべ・もりあき)
東京大学教授、放送大学副学長を経て東京大学名誉教授、京都造形芸術大学教授、舞台芸術研究センター所長。専攻は仏文学・表象文化論。演出家。著書に『ポール・クローデル—劇的想像力の世界』、『舞台芸術の現在』等。訳書にラシーヌ『フェードル アンドロマック』、フォーコー『性の歴史 I—知への意志』、クローデル『縞子の靴』(上・下、毎日出版文化賞、小西財団日仏翻訳文学賞受賞)、バルト『ラシーヌ論』(読売文学賞受賞)等。演出作品に、ラシーヌ『悲劇フェードル』(芸術祭優秀作品賞)、ジュネ『女中たち』(読売演劇賞)、能ジャンクション『葵上』『當麻』、創作能『内濠十二景、あるいは二重の影』『薔薇の名—長谷寺の牡丹』等。



森山直人(もりやま・なおと)
演劇批評家。現代演劇・表象文化論。京都造形芸術大学舞台芸術学科准教授。論文に、「過渡期としての舞台空間—小劇場演劇における「昭和30年代」,「ドキュメンタリー」が切り開く「舞台」,「分断と共感—東京国際芸術祭「中東演劇シリーズ」を振り返って」等。

【京都造形芸術大学 舞台芸術研究センターからのお知らせ】
◎ 語りの手紙 (1)「たけくらべ」 出演：後藤加代 6月13日(土)13時/17時開演 6月14日(日)14時開演 (14日はポストークあり 出演：松浦寿輝、渡邊守章) 会場：京都芸術劇場 studio21 前売料金：一般2000円 学生1000円 (当日は各500円増)
◎ 公開講座 映像+トーク 2009-2010「渡邊守章の仕事 テキストと身体—その演出作品を通して」 4月21日(火)ジュネ作「女中たち」ゲスト：浅田彰 5月19日(火)ジュネ作「バルコン」ゲスト：浅田彰 6月9日(火)ラシーヌ作「悲劇フェードル」ゲスト：後藤加代 7月7日(火)ミューゼ作「ロレンザッチョ」ゲスト：服部基(照明家) 各回とも16時半開演 会場：京都造形芸術大学映像ホール (入場無料・要事前申込) お申込：京都芸術劇場チケットセンター